

毎日歌壇

水原 紫苑 選

死はかつて緋色の斜塔などでもへすれて国の胸郭となる 加古川市 石村 まい

△評▽死にはなぜか赤系統の色が似合う。胸にくすれた塔をたくこの国は、人間の国か、それとも。

極彩色の物売りの影だけが肥大化をする夕暮れ吐魯番 甲府市 村田 一広

△評▽さまざまな色の人間たちがそのまま影になる、時間の回路、シルクロード。

ヨーグルトに任詰の桃沈めおりもつ愛せない思い出がある 横浜市 永永 キヌ

わたくしの暗い部分が生み出せる光もあると思っ 望月 大阪 中村 杏

黒曜石に馬体を彫れば動きだし暗闇のなかに消えてゆくだけ 宝塚市 白川 樓瑠

大空の連続性から逃げたくて飛行船はみなとに泊まる 東京 結羽 成

献眼ののちのひかりも受け入れて千の屈折ある位牌堂 豊橋市 氏原 維持

それは恍惚とした鳥葬でありわたしなぜか俯瞰だったの 名古屋市 よだ か

はるごといふ言はればれと撥ね返す春の光のかよへる白紙 東京 吉岡 耕大

あやとりのお蝶も梯子もほどいてはゆるした過去に慄いている 東京境 千尋

伊藤 一彦 選

一心に半紙に向かい手本写す子の瞳に「はるかぜ」ゆれる 東大阪市 タカエレイコ

△評▽上の句を受けての結句がいい。「はるかぜ」は手本の文字であると同時に子どもたちの明るい未来への祈りを感じさせる。根拠などなくとも君に大丈夫、そう繰り返す母親だから 奈良市 久保 祐子

△評▽結びの「母親だから」がさすがである。愛情は「根拠」を上回る。

大谷になれず山上徹也にもなれず寂しく生きてるばかり 湖西市 宮司 孝男

ふかぶかとかあかの他人をも貰けるあなたの正義ごん正しき 東京 奥山いずみ

契約書に息子のサイン求められ呆然とする我はなにも 前橋市 内山 征洋

こなれ感出すため買った白シャツのボタンを上まできっちり留める 松江市 小林 里純

寝ても寝ても眠たいわたし週末はスープのよつからだ煮詰める 東京 シヤルマ惠理

意味もなく大きく手ふりし13の君 今になって胸に届いた 福岡市 山下 朝音

翻訳の機能ツールに伝え来るベトナムの母が子の入園を 鹿嶋市 大熊佳世子

本気の気持ちを知られないやうに定型文でお詫のメール 宇治市 濱岡 学

米川千嘉子 選

すばらしいのへりひょうの演技より先にわれは切り抜く戦わず逃げる 生駒市 奥田 充子

△評▽感動の冬季五輪の最中後も戦争は続く。本紙2月17日夕刊に神山睦美氏の「戦わず殺さず逃げていい」が掲載された。

「やるだけやってみるよ」とまっすぐに飛行機雲のごとくに友は 会津若松市 ともりゆめ

△評▽当たって砕けるというのとも違う。ずっと率直な意思をユニークな比喩で。

愛は温し大根は熱しおでん食ふ昔の男年とり 北九州市 松尾あけみ

倒れ込む選手囲みて劣へば言祝ぐやうに風花やさし 延岡市 河野 正

綿あめが膨らむやうに両頬の毛のびていてぼさぼさな犬 松江市 渡邊 理紗

輪血したい ただそれだけのことなのにおまえは犬でわたくしは否 千葉市 与 葉

死ぬときは紐を握ってお空まで登っていくと首探に卒寿 つくば市 松井のり子

鳥類に魚類に蜂を飼育せしむこの戒名「飼」の二文字 熊野市 鈴木 圭子

ウーパールーパー五年生き死す薬局の水槽なくなりその場の空虚 横濱市 大建雄志郎

足を病み要るもの全てを一部屋に約数みたいな生活ならん 大阪市 小熊 光子

加藤 治郎 選

さっきまで街だったのにとどりの瓦礫となつてLEGOはつめたたい 広島市 木村 佳慧

△評▽鮮やかなメタファーだ。ミサイルか爆撃である。街はがれきりとなった。LEGOがビジュアルだ。世界の現実を喚起する。

わたくしは感情を持っておりませんAIは言うでも、ありがとう 岸和田市 ツキミサキ

△評▽感情のないAIの細やかな言葉は不思議である。感謝の言葉に何かが始まる。

貝殻の縁でさっくり切ったゆび すべては起こってしまったらしい 奈良市 古井さらさ

背の高い灯籠ひとつ欠けている雪の降る日はいつも悲しい 福岡市 横井マリノ

ヨーグルトたぶん職場で怒られる日とわかってても必ずたべる 名古屋市 森本 有

ただ「えっ？」と言われた時にまた一つ小さな傷が生まれ消えた 横濱市 友常 甘酢

遠浅の海のかなたに深淵があること君の瞳がかたる 春日部市 宮代 康志

老人の五輪の競技にきつとある風船パレーとグラウンドゴルフ 広島市 堀 眞希

さんさんと注がれているむす痔まそのうちそれはまなざしと知る 京都市 土 玉

いっしょくたになつてほくららのゆれいがカラオケルームにあらわれる夜 東京 供 養

投稿規定 はがき1枚に選者を指定し、未発表の自作を2首・2句まで。住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、宛先は〒100-8051(住所不要)毎日新聞学芸部、短歌は「毎日歌壇」、俳句は「毎日俳壇」、〇〇先生(希望選者名)係へ。毎日新聞デジタルの投稿フォーム (https://mainichi.jp/kadan-haidan/) でも受け付けています。

◇第37回日本伝統俳句協会賞一藤井啓子「祇園祭」▽同賞新人賞一菅谷米「日の匂ひ」◇第59回日本詩人クラブ賞一沢田敏子「祝祭の種」▽第36回日本詩人クラブ新人賞一岩重桃平「心のがらんにミミスを飼う」▽第26回日本詩人クラブ詩界賞一今野真二「谷川俊太郎の日本語」

詩歌便り